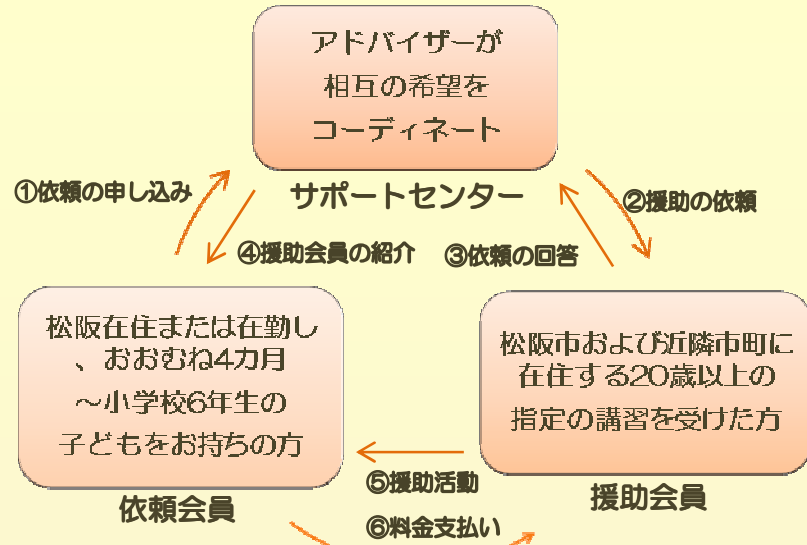


～ファミリーサポートセンターのしくみ～



★1時間の利用料金★

| ★援助開始3時間前までに依頼があった場合★ | |
|----------------------------|--------|
| 平日 7:00～19:00 | 700円 |
| 平日の上記以外の時間・土日祝日 | 800円 |
| 年末年始(12月29日から1月3日) | 1,000円 |
| ★援助開始まで3時間を切った場合・軽い病児・病後児★ | |
| 平日 7:00～19:00 | 1,000円 |
| 平日の上記以外の時間・土日祝日 | 1,200円 |
| 年末年始(12月29日から1月3日) | 1,400円 |

★1回あたりの宿泊の利用料金★

| | |
|-------------------------|--------|
| 22:00～6:00(連続8時間) | 5,000円 |
| 年末年始の同じ時間(12月29日から1月3日) | 7,000円 |

★ まず登録をしてください ★
お申し込みは当センターまでおこしてください。

★ 登録をすると ★

- ① 援助会員さんとのコーディネート**
条件に合った援助会員(2～3名)を探して紹介します。
- ② マッチング(面談)**
援助会員・依頼会員の顔合わせです。実際に援助をするお子さんもお連れいただいて、条件の確認をします。
- ③ 援助活動開始**
予約をいただいたうえで援助活動が始まります。

アドバイザーより

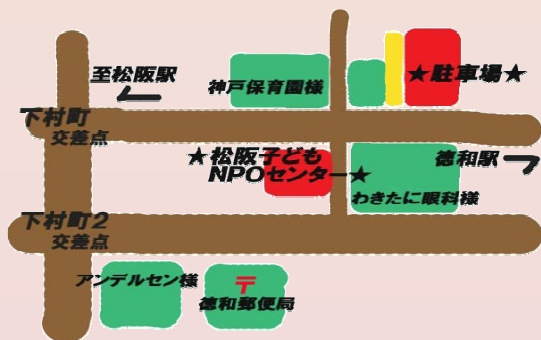
ゴールデンウィークのはじめに、考えも及ばない様な車の事故が続いて起こりました。
自分は注意していても、突然事故に巻き込まれた方ばかりでしたが、もしシートベルトをしていたらという事故もありました。
保護者として、援助会員として、車に乗る時は、必ずシートベルト、6歳以下の子どもにはチャイルドシートに乗せベルトを使用する。
その当たり前の義務が、守られていない車を見かけます。子どもが泣くから、嫌がるからという理由での様ですが、事故が起きてからではなく、自分と子ども達を守るため、もしもの時に後悔しないため、自分だけでなく周りの人にも声を掛けられる地域にしていかなければと思いました。



私たちが皆さんのお手伝いをさせていただきます
アドバイザーです

まつさかファミリーサポートセンター

〒515-0043 松阪市下村町 1115 (特) 松阪子どもNPOセンター内
TEL/FAX 0598-60-1820
E-mail mfsc@mknpo.jp
ホームページ http://www.mknpo.jp/mfsc/
開所時間 月曜～金曜 8:30～19:00



『あなたの子育て応援します』

2012年6月(第18号)

ファミサポ

ホットタイム



発行元：まつさかファミリーサポートセンター



2011年度交流会のようす



まつさかファミリーサポートセンターは(特)松阪子どもNPOセンターが松阪市より委託を受けて運営しています



2011年度の実績報告

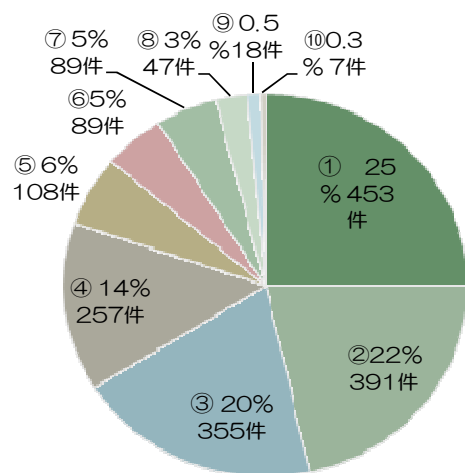


まつさかファミリーサポートセンター会員数 **563名** 2012年3月末現

うち、援助会員・・・208名 依頼会員・・・283名 両方会員・・・72名

援助内容と活動実績

| 援助活動の内容 | 活動件数 |
|----------------------------|---------------|
| ① 保育施設までの送迎 | 453件 |
| ② 出向の場合の援助 | 391件 |
| ③ 子どもの習いごと等の場合の援助 | 355件 |
| ④ 放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり | 257件 |
| ⑤ 保護者などの病気その他休養の場合の援助 | 108件 |
| ⑥ 保育施設の保育開始時や保育終了後の子どもの預かり | 89件 |
| ⑦ 買い物等外出の際の子どもの預かり | 89件 |
| ⑧ 出産時・後の援助 | 47件 |
| ⑨ その他 | 18件 |
| ⑩ 病児・病後児・緊急の預かり | 7件 |
| 合計活動件数 | 1,814件 |



ファミリーサポート事業は今年で9年目に入りました。2011年4月からは、新たに「軽い病児や病後児の預かり」「緊急時預かり」「宿泊預かり」を実施することになり、子育てしやすい環境をさらに充実させることができました。

2011年度の特徴としては、保育園等への送迎が減り、定期的な習い事や塾への送迎が増えたこと、出向を含む乳児の預かりが多かった点があげられます。乳児の預かりに関しては、母親の体調不良や育児不安など理由は様々ですが、援助することにより母親の孤立を防ぎ、子育て不安をやわらげていると思われます。

また、援助活動の多くは1時間以内の送迎や送迎後の預かりです。共働き世帯が増え働き方が多様化する中、ファミリーサポート事業が子育て支援のすき間を埋める大切な役割を担っているのだと改めて感じています。

2012年度も「援助会員養成講座」を行います！！

第1回養成講座
【日程・場所】6/5(火) 7(木) 12(火)
MAPみえこどもの城
6/14(木)
花岡地区市民センター

【講座内容】
 保育の心 子どもの遊び 3時間
 子どもの栄養と食生活 3時間
 保育サポーターの役割と心得 1時間
 事業を円滑に進めるために・援助会員体験談 1時間
 子どもの発育と病気 3時間
 子どもの心に寄り添う 2時間
 子どもの事故と安全
 ～幼児救急法～ 2.5時間
 小児看護 3時間
 子どもの心の発達 3時間
 グループワーク 2時間

子育てを応援してみようと
思われる方はぜひ受講してください

ファミサポ この1年の講座



援助・両方会員
ステップアップ講座
(7月・11月・2月)
～よりよい援助のための学びの場～



援助会員養成講座
(6月・12月)
～20時間以上の研修～



平成23年度依頼会員・援助会員

交流会



平成24年3月4日(日)花岡地区市民センターにて、交流会を開催し31名の方の参加がありました。

普段あまり顔をあわせることのない会員同士が親しくなれる交流の場として、毎年大人から子どもまで楽しめる企画を考えていますが、今年度は、昔ながらの遊びをファミサポ風にアレンジした“大きな大きなすごろく遊び”でした。

まず、大きなダンボールに好きな絵や言葉をイメージして描き、自分なりのコマを作っていきます。みんなの出来上がりを部屋中につなげて並べ“すごろく板”にしました。サイコロをふって止まるとその内容に子ども達も、そして援助会員の皆さんからも大きな歓声上がり、ドキドキ、わくわくしながらの楽しい会となりました。そのあと、あたたかい豚汁をお腹いっぱい食べながらのおしゃべりも弾んでいました。



援助活動やっています

～日頃の援助活動についての感想をいただきました～

依頼会員より

『今日は宮本さんちに行く日だよ』と言うと、ウキウキしながらバッグにおもちゃを入れて、“早く行こう”と言わんばかりに私の手を引っ張るようになりました。転勤族で身近に頼れる人がいない中、安心して子育てができるのはファミリーサポートの皆様のおかげだと感謝しております。

援助会員より

お母さんが用事の間、これまでに5～6回程お預かりをしていますが、最初の頃から嫌がることなく遊んでくれます。体を動かすことが大好きで、お気に入りのアンパンマンのボールを投げあっています。抱っこをすると、私の首に手をまわしてくれるんです。こちらが抱きしめてもらっているようで、何ともいえない愛おしい気持ちになります。これからもさやちゃんの成長と一緒にみていけたらと思っています。



依頼会員より

小学1年生の娘の放課後クラブから母親の職場までの送迎をお願いしています。子育てに対して、いろいろなサポートがあると思いますが、たった1時間でも子供を1人にしておけない今の時代、ファミサポのようにニーズにあったサポートをしていただける存在がとても心強いです。援助会員さんはもとより、スタッフの方も皆優しいので相談しやすく本当に助かっています。

援助会員より

とても活発で運動好きのかなちゃん。初対面でも明るく話をしてくれたり、ブランコもびゅんびゅんとばして見せてくれます。初めての援助での事。お迎えの車の中で眠ってしまって、私もお母さんもビックリでした。気持ち良さそうかなちゃんの寝顔を見ながら“大事な子どもさんをお預かりしているのだから、きちんとお母さんのもとに送りとどけなきゃ”という思いがわいてきました。これからのかなちゃんとのかかわりがとても楽しみです。

